

日本共産党

岡山市議会議員

# 林じゅん



2018年7月29日  
No.41

日本共産党岡山市議団  
岡山市北区大供 1-1-1  
tel 086-803-1707  
fax 086-234-9388

林じゅん



## 中区に図書館を

やっぱり

市には、平成九年に策定し、平成十四年に改訂した岡山市立図書館整備実施計画があります。

この計画では、東部地区（現在の中区）に地区図書館を整備すべき、としており、それを根拠に高屋に図書館用地が先行取得されています。

しかし市は、図書館をなかなか作らないばかりか、計画の方を見直そうとしています。

林じゅんは、六月議会で「新たに図書館を作らないための見直しにならないように」「中区に図書館を建設すべき」と質問しました。

図書館の役割は、単に本の貸し出し・返却の窓口ではありません。司書がいて、専門家と

### 図書館は教育施設として

安倍政権の下で、図書館を教育委員会から首長部局が所管できるようにする動きが強められています。社会教育施設全般に渡り、あり方が見直されようとしています。

すでに首長による教育長の任命や教育大綱の制定など、教育の自主性や政治的中立を脅かす制度が具体化されています。

図書館の資料の収集・提供が政治的意図に左右されることがあってはなりません。図書館は教育施設として、教育委員会が所管するのが適当です。



して市民の知的要求に応える場です。インターネット予約と公民館での受け取りは図書館の代わりにはなりません。

図書館用地がある地域には「老後は図書館に通つ

て過ごそうと思っっている」という方がいました。子どもや高齢者が気軽に安心して過ごせる場にもなります。

計画の改訂時に比べて地域の人口は増え、道路の整備が進んでいます。状況の変化はむしろ、中区に地区図書館を整備すべき方向です。

市は「今後検討し、議論を深めたい」と答弁しています。

## 議会ICT化と委員会のあり方

市民生活に直結している市政を議論する市議会のあり方自体も議論されています。

岡山市議会に議長の前問会議としてICT化検討会が設置されました。

ICTとは「情報通信技術」の略でタブレットの活用などが具体例です。

紙の資料を減らすペーパーレスだけでなく、市民に分かりやすい情報提供に役立てることもできます。

また議会運営委員会（議運）では決算審査や常任委員会のあり方の検討が始まっています。

議会改革という何故か議員の発言時間を減らそう、という動きが出てきます。

林じゅんは、ICT化検討会と議運の両方に入っています。

市民に開かれて、かつ必要なることをしっかり議論する市議会のためにがんばります。



林じゅん生活・法律相談

第一月曜日に相談日を設けています。

予約はこちら

☎086-273-2221